

山形大学

校友会 会報

No.05
MARCH 2015

YAMAGATA UNIVERSITY KOYUKAI



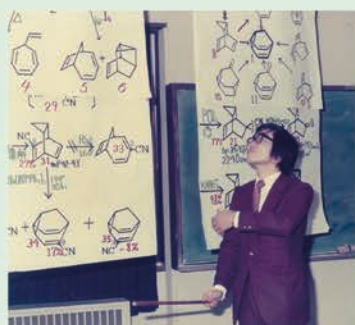
ご挨拶

人生のワンポイント：青春とは心の情熱

山形大学理事・副学長 大場 好弘
(校友会担当)



2014年4月より校友会担当理事となりました大場好弘です。私は学部から大学院までの9年間、「下宿」にお世話になり、多くの仲間を得ることが出来ました。その後、1982年に本州の西はずれの山口大学に採用され、その後に縁あって山口大から山形大工学部へ移り、現在に至ります。工学部では、学生が15人以上いる研究室



学生時代、卒業研究発表で

で多忙で充実した毎日を過ごす事が出来ました。2007年から4年間工学部長として、教育改革として「バイオ化学工学科」と「システム創生工学科」の新設、研究改革として世界一の「有機エレクトロニクス研究拠点つく

り」に焦点を絞り実行してきました。「新たな100年のため」を意識して情熱をもって取り組みました。ここでも多くの方々と出会いと支援がありました。

さて、サミュエル・ウルマンの「青春」という詩があります。「青春とは人生の或る期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。」で始まる詩です。ビジョン作りと情熱をもって継続して実行すれば、計画はかなうものだという内容です。皆様の人生の設計図はどうでしょうか？ 具体的には、1) 一生の目標 2) 1年間の目標 3) 自分が取り組む事を紙に書いてみることから始めましょう。書くべき項目は ①知識技能の自己研鑽のためにする事 ②健康管理のためにする事 ③心の成長のためにする事それぞれ3項目書いて、目標とともに見える所に貼っておく事を勧めます。睡眠前に毎晩自分自身を褒めることも忘れないでください。ポジティブで幸せになれます。最後に校友会を通じての様々な出会いも人生に有用ですので是非ご活用ください。

卒業生講演会

「活躍する山形大学卒業生～私にとっての山形大学とは?～」を開催しました。

平成26年12月6日(土)に、山形大学小白川キャンパス基盤教育1号館教室を会場に、ふすま同窓会と山形大学校友会との共催事業として「山形大学卒業生講演会」活躍する山形大学卒業生～私にとっての山形大学とは?～を開催しました。

倉金徹さん(人文学部卒)、碓真実さん(地域教育文化学部卒)、伊藤さよさん(大学院理学研究科修了)、ゾマホン・スールレレさん(大学院理工学研究科(工)修了)の4人の若手卒業生を招き、さらに本学卒の渡辺将尚人文学部准教授に座長を務めていただいたシンポジウムは在学生をはじめ、募集人数を大きく超える80名以上の参加があり、会場では熱い熱い意見交換が行われました。



先輩卒業生から

卒業生講演会でシンポジストを務めていただいた先輩卒業生から卒業生の皆さんにいただいたメッセージを紹介します。



倉金 徹さん
(株式会社 旭ブレインズ取締役
中小企業診断士)
人文学部文学科哲学専攻 平成5年卒

「入社するまでの間に、これはやっておいた方がよいというものがありますか?」

私は、企業の採用担当として就職活動中の大学生の方々に面接する機会がありますが、面接の最後に「何か訊いておきたいことはありませんか?」と尋ねたとき、このような質問をよく受けます。

そのとき私は決まって「大学生の時にしかできないことをやってください。」と答えます。そして「社会人になってからも機会あるごとに会えるような、大学時代の友達をつくっておいてください。」と続けます。質問した学生は、私の言葉に拍子抜けした様子です。

考えれば当たり前のことですが、社会人になると自分の周りには自分と同じ業界の人で埋め尽くされます。私は、自分とは異なる業界・社会・文化にいる友人のものの見方や考え方に、ずいぶん助けられた経験があります。山形大学の校友と一緒に過ごせる今のうちに、今しかできないことに多くの時間を費やしてみたいかがでしょうか。



碓 真実さん
(山形市少年自然の家)
地域教育文化学部地域教育学科中学校
(理科) 教員養成コース 平成22年卒
平成22年12月～平成24年12月まで青年海外協力隊員としてニジェール、ジブチに理数科教師として派遣

皆さん、ご卒業おめでとうございます。この日を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。また、ありがたくもこのように卒業生の皆さんにお祝いの言葉を贈る機会をいただけたことを嬉しく思います。

私は大学卒業後、青年海外協力隊に参加し日本から遠く離れたアフリカの地で理科教員をしてきました。日本とは違う環境、文化の中で現地の友人から言われた言葉は今でも強く私の印象に残っています。「日本人は一生懸命働かなくてはいけないと言うけれど、何のために働くのか。俺たちは働くために生きてるんじゃないかって、幸せになるために働くんだろ。」雑談の中で言われた言葉でしたが、仕事をすることや進学することはそれ自体が目的ではないのだと改めて考えさせられました。卒業生の皆さんも、どうか幸せになるために自分の路を進んでください。そしてこの卒業がみなさんの幸せへの一歩になることを願っています。

各同窓会と山形大学校友会との情報交換会を開催しました



平成26年7月31日(木)に各同窓会との情報交換会を開催し、各同窓会の会長の皆さまにご出席いただくとともに、校友会からは会長である小中学長と大場理事・副学長が出席しました。これは同窓会と校友会との情報交換会としては初めての開催となるものです。

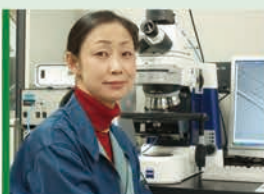
校友会からは「卒業生の人財バンク登録事業」や校友会メールマガジン「みどり樹通信」の配信など、校友会の新たな取り組みについての説明、各同窓会からもそれぞれの活動状況についての説明があった後、今後の各同窓会と校友会の連携についての意見交換が行われました。



今回のシンポジウムを担当していただいた
「ふすま同窓会」長沼龍平会長からコメントをいただきました。



『活躍する山形大学卒業生～私にとって山形大学とは』シンポジウムは小山学長はじめ諸先生、予想以上に多くの学生諸君の出席を得て熱気溢れた会場となり満足感のある講演会となりました。多忙な日時を割いて講師を引き受けてくださったOB、OGの皆さんの中味の濃い体験談とその自信に満ちた説得力は学生に大きな刺激を与え、進路指針の参考となったことでしょう。在学生とあまり世代を隔てない卒業生からの的確な意見の交換は貴重なものでありました。本年度第2回目の開催はふすま同窓会が幹事を担当しましたが、先輩と交流が密になり聊かでも現役学生に役立てば先輩同窓生として冥利に尽きるものはありません。今後是非継続し回を重ねてもらいたいと思います。



伊藤 さよ さん
(山形県警察本部刑事部
科学捜査研究所化学担当)
大学院理学研究科化学専攻
平成9年修了、平成15年理学博士)

卒業生、修了生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。山形大学で過ごした月日は長く、それとも短く感じられましたか。そして何を学び、何を得たでしょうか。今はそれ程実感が湧かないかもしれませんが、社会に飛び立ち、色々な意味で自立していく中で、手に入れたものに気がつくことがあるでしょう。

今、皆さんは山形大学という「引き出し」を手に入れました。もしかしたら先生、友人などの新しい引き出しも手に入れているかもしれません。人ひとりがいくら頑張っても出来ることや得られる知識、経験は限られますが、引き出しを多く持つことで、大抵のことは何とかなります。私自身、何度も助けられてきました。私にとって山形大学は大切な引き出しのひとつです。どうかこの学び舎を巣立つ皆さんも引き続き大学とのつながりを持ち続け、先輩から後輩へ連綿と続く引き出しの幅を広げていって下さい。皆さんの今後のご活躍に期待致します。



ゾマホン・スールレレ さん
(AFRIKA-Network社
CEO、NPO法人AYINA
代表：ベナン出身)
大学院理工学研究科博士
前期課程(工・情報)
平成20年修了)

みなさん、ご卒業おめでとうございます！ 誠に以下のメッセージを共有します。

1. 常に自らの限界を打ち破って

このために、世界を探検し観察するなど、特にアフリカのようなあまりなじみのない場所へ行くといいです。革新的なアイデアや解決方法はたゞ自身の世界を越えたところにあるからです。

2. あなたの“殻”の外で生きて

他人と違うことを恐れる心やルーティーンによって出来る自身の“殻”を、「より良い結果をもたらす方法はないだろうか?」と自問し続けて破るよう心がけて下さい。ほとんど毎回何か思いつきます。それを試して下さい。

3. 自分自身になることを目指せ

社会の基準に強いられて「普通」でありたいと願うのではなく、「自分自身」であることに尽力し、人生を忠実に生きましょう。

4. いつもゴールを追求して

自身に問いかけることで初めて明確化するゴール。それを追い求めていると確認することが、機会や必要な行動を促すのです。今から始まる新たな人生を皆さんが最高に楽しめることを、心から祈っています。

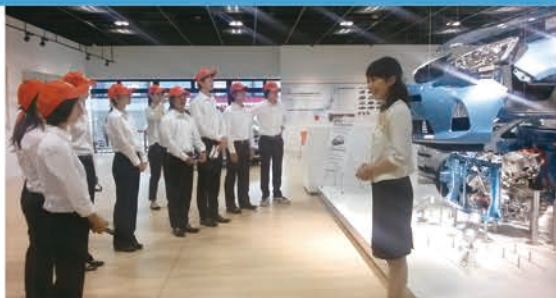
山形大学同窓会 一覧 (平成27年3月現在)

同窓会名	会長名等	連絡先
ふすま同窓会	会長 長沼 龍平	〒990-0034 山形市東原町1-9-4 ふすま同窓会館内 「ふすま同窓会」事務局 TEL・FAX: 023-633-9927 E-mail: fusumadosokai@yahoo.co.jp
地域教育文化学部同窓会	会長 酒井 順一	〒990-0021 山形市小白川町1-13-27 地域教育文化学部同窓会館内 「地域教育文化学部同窓会」事務局 TEL・FAX: 023-633-0567
医学部医学科同窓会「蔵王会」	会長 山下 英俊	〒990-9585 山形市飯田西2-2-2 山形大学医学部医学科同窓会 「蔵王会」事務局 TEL: 023-628-5157 E-mail: yamadai@zao-kai.jp
医学部看護学科同窓会「樹氷会」	会長 細谷たき子	〒990-9585 山形市飯田西2-2-2 山形大学医学部看護学科同窓会 「樹氷会」事務局 FAX: 023-628-5464 E-mail: juhyokai@n-yu.jp
一般社団法人 米沢工業会	理事長 山崎洋一郎	〒992-0038 米沢市城南4-3-16 山形大学工学部内 「一般社団法人 米沢工業会」事務局 TEL・FAX: 0238-22-7866 E-mail: yzkgkai@dipfr.dip.yz.yamagata-u.ac.jp
農学部鶴窓会	会長 佐藤 晨一	〒997-8555 鶴岡市若葉町1-23 山形大学農学部内 「鶴窓会」事務局 TEL・FAX: 0235-28-2897 E-mail: kakusoukai@kdp.biglobe.ne.jp

校友会支援事業の紹介 (平成26年度)

平成26年度の校友会支援事業のうち、既に終了したものを紹介します。

就職活動支援



企業研究バスツアー

「学生中心に行う優良企業訪問」の一環として、延べ58名が計8社を訪問しました。



OB・OGフォーラム

企業14社から22名のOB・OGと57名の学生が参加しました。



長期インターンシップ バスツアー

山形大学実践教育プログラムの一環として実施し、29名が山形市、庄内地区の7機関を視察しました。

課外活動支援

各キャンパス大学祭への支援



八峰祭 (小白川キャンパス)



吾妻祭 (米沢キャンパス)



鶴寿祭 (鶴岡キャンパス)



ビーチサッカー大会in庄内

悪天候のため屋内でのミニサッカー大会となりましたが熱戦を繰り広げました。

山形大学グローバル化支援



大学間交流協定大学への派遣留学支学支援事業
12名の学生に支援金を贈呈しました。



グローバル化に向けた授業への修学支援
北欧の4カ国での短期プログラムに参加した10名の学生に支援金を贈呈しました。



**大学間交流協定事業促進及び
グローバル化に対応する
修学支援「国際理解のための
サマースクール」**

ドイツ・ハノーバー大学でのプログラムに参加した9名の学生に支援金を贈呈しました。

修学支援



英語合宿と合宿型ワークショップ

山形大学実践教育プログラムの一環として実施し、それぞれ27名、23名が参加しました。



**山形大学校友会 大学院学生表彰制度
(山形大学校友会会長賞)**

顕著な学術研究活動を行った11名を表彰しました。



**校友会推薦図書コーナー
「後輩には是非、こんな本を読ませたい」**

200冊を超える図書を先輩学生が選定購入しコーナーを設けるとともに「ビブリオバトル2014in山形」を実施しました。

各同窓会の紹介

米沢工業会千葉支部

米沢工業会には活動拠点として都道府県を単位とした支部が全国にあります。千葉支部は千葉県に在住もしくは勤務している米沢工業会会員約850名が所属しています。

千葉支部では支部総会、平成の会(若手会員を中心とした会)、ゴルフコンペ、女子会の4つイベントを中心に活動しています。総会では講演会を開催し現役の山形大学教授らをお招きし新技術や研究成果・トピックスなど“山形大学工学部の今”をご紹介します。平成の会では、山形からのお取り寄せ材料でつくる芋煮会やBBQなどを開催し、家族連れで週末の楽しいひとときをお過ごしいただけるイベントを開催しています。ゴルフコンペは前回から女性の参加者もあり参加者の幅もだんだん広がってきています。女子会は“リケジョ集まれ!”と男子禁制で最近始めた企画で、まだまだ少人数ですが「継続は力なり」で続けていきたいと思っています。

千葉支部は、山形・米沢という土地で過ごした思い出を共有している人たちが、話し・飲んで・盛り上がる、ただそれだけの集まりですが、年に1回集まるのを楽しみにするよと言ってもらえるような楽しい会を企画し開催



平成の会

していきたいと思います。山形から遠く離れた房総の地で、山形の懐かしい芋煮を食べて学生の時の思い出話をしながらワイワイ盛り上がる、そんな集まりにあなたも参加してみませんか。

千葉支部ではホームページ、Facebook、Twitterで随時様々な情報を発信しておりますので検索してみてください。

(千葉支部長 大泉利春)



「山形大学同窓会・校友会首都圏ネットワーク総会」と「各同窓会支部と校友会との情報交換会」を開催しました

平成26年12月20日(土)に開催し、東京ふすま会、地域教育文化学部同窓会東京、千葉、川崎の各支部、米沢工業会東京、神奈川、埼玉、千葉の各支部、鶴窓会関東支部、そして樹氷会(医学部看護学科同窓会)からも佐藤和佳子顧問にご出席いただきました。

また、今回は、現在、校友会と山形大学小白川キャンパス事務部就職課とが連携し検討している“若手卒業生の会”開催に向けて、5学部6名の若手卒業生も参加し、各同窓会の皆さまと新たな交流を深めることができました。

山形大学校友会への入会について(申し込みのご案内)

—山形大学校友会に未だ加入されていない卒業生等の皆さんへ—

本会の趣旨にご賛同のうえ、別紙「払込取扱票」へ必要事項をご記入いただき、「郵便振替」によりお振込み願います。

会費の納入により入会申込みの完了とさせていただきます。

会員となられた方には定期的に校友会会報(メールマガジンを含む。)や山形大学の情報誌をお届けし、折々に山形大学の現況をお伝えしております。

1. 会員：生涯会費を納入いただいた次の方々です。

- (1) 本学の学生(保護者の場合を含む)
- (2) 本学の卒業生
- (3) 本学の役員及び教職員(退職者を含む)
- (4) 前項以外の本学に関係する者

2. 会費：10,000円(生涯会費)

3. 払込方法

所定の別紙「払込取扱票」によりお願いします。

なお、無い場合は「校友会事務局」へご請求いただくか、郵便局に備え付けの「払込取扱票」をご利用ください。

また、その際、次の記入例を参考に、必要事項をご記入ください。

(通信欄記入例)

卒業生の場合：○年度卒業(修了)、○学部(大学院)

退職者の場合：退職時の部局名

趣旨賛同者の場合：趣旨賛同の旨表示、個人、法人名
メールマガジンの配信や各種行事等についての情報提供
を希望される場合にはメールアドレスを記載願います。

4. 払込時期

入会申込みは随時受け付けておりますが、新入生(学部、大学院共)については、入学手続き時において、諸会費等の納入と合わせて申込みをいただいております。

5. 振替口座(ゆうちょ銀行)

次の「山形大学校友会」名義の振替口座へお振込みください。
なお、専用の「払込取扱票」以外の場合は、振込手数料を、別途ご負担いただくことになりますのでご注意ください。

口座番号：02200-7-89697

校友会事務局から同窓会支部総会等への参加状況 (平成26年度)

校友会事務局から次の各同窓会・同窓会支部の総会等に参加し、卒業生の皆様と情報交換をさせていただきました。
今後も各地の同窓会総会等に参加させていただき、同窓会との連携を一層深め、校友会の事業等に反映して参りたいと考えています。

ふすま同窓会 平成26年度総会 平成26年5月17日(土) 会場：ホテルサンルート山形

東京ふすま会 平成26年度総会 平成26年5月17日(土) 会場：学士会館
講演会講師：元東京工業大学、東京理科大学教授 鈴木光男様 「高後虎雄・亀井勝一郎先輩について」

平成26年度 山形大学農学部鶴窓会代議員会 平成26年5月24日(土) 会場：鶴岡ワシントンホテル

鶴窓会関東支部 平成26年度総会
平成26年6月8日(日) 会場：キャンパス・イノベーション・センター(東京サテライト)
講演会講師：NPO法人「アーシャ=アジアの農民と歩む会」理事長 牧野一穂様
「草の根海外協力=インド農村に40年生きて」(1965-2008)

平成26年度 地域教育文化学部同窓会川崎支部総会 平成26年6月21日(土) 会場：「味良(みよし)」
講演会講師：須賀一好地域教育文化学部長 「母校の近況」

平成26年度 地域教育文化学部同窓会東京支部総会 平成26年6月22日(日) 会場：スクワール麹町
講演会講師：須賀一好地域教育文化学部長 「山形大学地域教育文化学部の現状と課題」

米沢工業会山形支部 平成26年度総会 平成26年7月11日(金) 会場：山形グランドホテル
講演会講師：小山清人山形大学長 「新しい大学の創造に向けて!!-米沢工業会に期待すること-」

米沢工業会神奈川支部 平成26年度総会 平成26年7月12日(土) 会場：ヨコハマプラザホテル
講演会講師：株式会社日立製作所 ゴマホン・スールレ様 「アフリカと日本の架け橋」

平成26年度 米沢工業会北海道支部総会 平成26年7月20日(日) 会場：ほくでん「北二条クラブ」

平成26年度 米沢工業会東京支部総会 平成26年9月5日(金) 会場：メルパルク東京
講演会講師：東京大学大学院経済学研究科ものづくり経営研究センター特任研究員
伊藤洋様 「日本の“ものづくり”の忘れ物」

東京ふすま会 第18回「山大の集い」
平成26年9月27日(土) 会場：キャンパス・イノベーション・センター(東京サテライト)
講演会講師：阿部宏慈 山形大学理事・副学長 「山形で映画を教えるということ：映像“学”と映画祭と」

第8回鶴窓会関西支部総会 平成26年10月5日(日) 会場：割烹 湖月

一般社団法人米沢工業会 創設90周年記念行事 平成26年10月10日(金)
講演会講師：アキレス株式会社代表取締役社長 伊藤守様「お客様からの真の満足をいただくための原点帰帰」
株式会社ブリジストン代表取締役COO 西海和久様 「真のグローバル企業に向けて」

地域教育文化学部同窓会母校創立136周年祝賀行事 平成26年10月13日(月) 会場：山形国際ホテル

平成26年度 「ふすまの日・ふすまの夕べ」 平成26年10月24日(金) 会場：山形グランドホテル
講演会講師：講師 宝井琴柑様 「講談 山内一豊の妻」

第16回地域教育文化学部同窓会神奈川支部総会
平成26年10月25日(土) 会場：小田急ホテルセンチュリー相模大野
講演会講師：落語家 柳家メ治(しめじ)氏 「落語「ちりとてちん」ほか」
須賀一好地域教育文化学部長 「山形大学地域教育文化学部の現状と課題」

米沢工業会千葉支部 平成26年度総会 平成26年10月25日(土) 会場：ホテルプラザ菜の花
講演会講師：大学院理工学研究科 西岡昭博教授
「プラスチック成形加工法を応用した米粉100%による製パン技術の開発～米粉100%パンの開発から全く新しいアルファ化米粉の製造法～」

平成26年度 米沢工業会TH会首都圏支部総会 平成26年10月25日(土) 会場：クーボール赤坂本店
講演会講師：大学院理工学研究科 伊藤浩志教授
「プラスチック材料のマイクロ・ナノ成形加工技術の現状と動向」

平成26年度 米沢工業会東海支部総会 平成26年11月9日(日) 会場：KKRホテル名古屋
講演会講師：元ホンダエンジニアリング研究所取締役 伊藤洋様
「今だから話せるホンダの真実・・・やってみませんか」

米沢工業会関西支部 平成26年度総会 平成26年11月22日(土) 会場：大阪弥生会館
講演会講師：大阪府立大学航空宇宙海洋系 千葉正克教授
「学生による「まいど1号」と「OPUSAT」の開発-府立大の航空宇宙工学科の歴史も-」

ふすま同窓会関西支部 平成26年度総会 平成27年1月25日(日) 会場：神仙閣

米沢工業会TH会首都圏支部新年会 平成27年1月30日(金) 会場：クーボール赤坂本店
講演会講師：大学院理工学研究科 西岡昭博教授
「プラスチック成形の視点から発想した米粉100%による製パン技術の開発」



鶴窓会関西支部



米沢工業会東京支部



地域教育文化学部同窓会川崎支部



一般社団法人米沢工業会創設90周年記念行事



「ふすまの日・ふすまの夕べ」



米沢工業会千葉支部

山形大学大学歌

作詞：石先 麻美・難波 千鶴
作曲：大谷 靖夫
編曲：中村 康就

山形大学大学歌は、平成21年に創立60周年を記念し、歌詞の募集を行い、当時地域教育文化学部4年在学中の石先麻美さんと難波千鶴さんの作品が選ばれました。作曲は山形市出身の作曲家大谷靖夫氏に依頼し、平成22年3月に本学大学歌として制定されました。



大学歌
ダウンロードは
こちら

大学のホームページからも
ダウンロードができます。

- 1 春風に 希望をのせて
桜の光 仰ぎ見る
若葉の緑 きらめいて
力みなぎる 若き瞳
決意を胸に 手をつなぐ
我らが学び舎 山形大学
- 2 知を深く 真理を求め
語りあかそう 集い来て
星のまたたき 想い馳せ
学びを拓く 強き瞳
己を信じ 進みゆく
我らが学び舎 山形大学
- 3 はるかなる 未来を照らし
流れる川の 絶え間なく
日々を彩る 雪模様
次代を担う 明き瞳
夢を抱いて はばたこう
我らが学び舎 山形大学



山形大学校友会では、事業の一環として、大学のイメージアップと4キャンパス一体感の醸成を目的として大学歌の普及活動に対しての支援を行っています。
なお、大学歌はYouTubeでもお聴きいただくことができます。

山形大学学生歌「みどり樹に」

作詞：菅原 威
作曲：橋場 富蔵

※学生歌「みどり樹に」は、
YouTubeでもお聴きい
ただくことができます。

- 1 みどり樹に 風がながれるように
さわやかな 若人のうたごえ
遠く海を越えて
世界の果まで ひびくよ
われらの歌う 口唇に
友情の血潮は あふれる
- 2 大地から 草が萌えてるように
たくましい 若人の生命は
高く峯を越えて
世界の果まで のびゆく
われらの輝く ひとみには
平和のねがい みなぎる
- 3 大空に陽が 輝くように
かぎりない 若人の夢は
はるか雲を越えて
世界の果まで とどくよ
結んだ腕で 新しい
未来を築く われらよ



山形大学校友会メールマガジンを配信しています。

校友会では、山形大学や校友会に関するさまざまな情報をお届けするため、山形大学校友会メールマガジン「みどり樹通信」の配信を行っています。

特に、会員である本学学生の皆さんで配信(無料)を希望される場合は、校友会事務局までメールによりお知らせください。

また、卒業生の皆様からも山形大学や学生への応援メッセージ(200字以内)、学生時代の思い出等についてのご寄稿(800字以内)を募集しておりますので、お気軽に校友会事務局までお知らせください。

山形大学エンrollment・マネジメント部

山形大学校友会事務局

〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12

TEL: 023 (628) 4867 FAX: 023 (628) 4185

E-mail: ykouyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

〈校友会ホームページ〉 <http://www.yamagata-u.ac.jp/ykouyu/>